

Canon

EOS 5D Mark IV

EOS 5D Mark IV (WG)

Canon Log 使用説明書

- 本書は EOS 5D Mark IV が、「Canon Log」に対応したファームウェアにアップグレードされていることを前提に説明しています。
- 本書では「Canon Log」に係わる差分のみを説明しています。「Canon Log」以外の内容については、「EOS 5D Mark IV 使用説明書」を参照してください。
- HDMI ケーブル（別売）を使用するときは、ケーブルプロテクターの使用をおすすめします。

Canon Log の設定

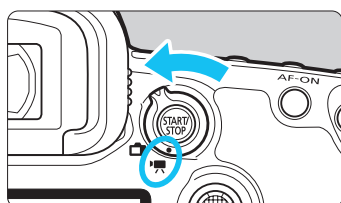
Canon Log は、撮像素子の特性を最大限に引き出し、動画撮影時に広いダイナミックレンジを確保することを目的とした、ポストプロダクション処理を前提にしたガンマ特性です。黒つぶれや白飛びが少なく、シャドウからハイライトまでの情報を映像に取り入れることができます。

なお、Canon Log で撮影した映像は、ルックアップテーブル（LUT）を適用してポストプロダクション処理を行うことができます。LUT データは、キヤノンのホームページからダウンロードしてください。



1 モードダイヤルを〈M〉にする

- 撮影モードが〈**A+** / **P** / **Tv** / **Av** / **B**〉モードのときは、（手順3以降の）Canon Log の設定はできません。



2 ライブビュー撮影／動画撮影スイッチを〈**📺**〉にする

- ➔ 液晶モニターに映像が表示されます。



3 [Canon Log 設定] を選ぶ

- 〈**MENU**〉 ボタンを押します。
- [**📷5**] タブの [Canon Log 設定] を選び、〈**SET**〉を押します。



4 [Canon Log] を選ぶ

- 〈**SET**〉を押します。



5 [入] を選ぶ

- 〈**🕒**〉を回して [入] を選び、〈**SET**〉を押します。
- ➔ Canon Log に設定されます。

6 撮影機能を設定する

- ISO 感度を手動設定します。
- シャッター速度、絞り数値を設定します。

撮影機能の設定について

- ISO オートでの撮影はできません (ISO オートの設定で Canon Log を設定したときは、ISO400 に設定されます)。
- ISO 感度を ISO100 ～ 320 に手動設定したときは、ダイナミックレンジが狭くなります。
- Canon Log 設定時のダイナミックレンジは、ISO400 以上で約 800% です。
- Canon Log 設定時も AF 撮影を行うことができます。ただし、Canon Log 撮影時は、通常撮影時に比べ、低輝度下の被写体や、明暗差（コントラスト）の少ない被写体に対して、AF でピントが合いにくいことがあります。
- 4K 動画撮影時に Canon Log を設定したときは、**[📷1：レンズ光学補正]** の **[周辺光量補正]** は設定できません（機能しません）。
- ハイフレームレート動画撮影時に Canon Log を設定することもできます。
- カスタム撮影モード（C1/C2/C3）に、Canon Log の設定内容を登録することもできます。



7 Canon Log の映像特性を調整する

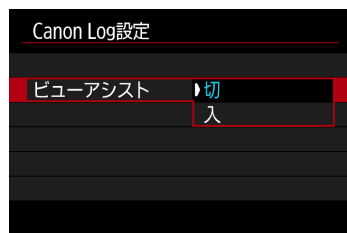
- 必要に応じて調整します。
- 〈〉を回して項目（[シャープネス:強さ] [彩度] [色相]）を選び、〈〉を押します。
- 〈〉を回して効果の度合いを設定し、〈〉を押します。

シャープネス：強さ		0：輪郭強調・控えめ	7：輪郭強調・強め
彩度		-4：低い	+4：高い
色相*	赤色	-4：マゼンタ寄り	+4：黄色寄り
	緑色	-4：黄色寄り	+4：シアン寄り
	青色	-4：シアン寄り	+4：マゼンタ寄り

* 赤色、緑色、青色を個別に調整することはできません。

Canon Log の画質について

- Canon Log 設定時は、被写体条件や撮影条件により、映像に横縞状のノイズが発生することがあります。そのため、事前にテスト撮影を行い、映像を確認してから撮影することをおすすめします。なお、撮影した映像をグレーディング処理する際、特にコントラストを強くすると、ノイズが顕著になることがありますので、ご注意ください。
- Canon Log 設定時は、空や白壁などのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、露出ムラや色ムラ、ノイズが発生することがあります。
- ノイズが目立つときは、[1：レンズ光学補正]の[周辺光量補正]を[しない]に設定して、やや明るめに撮影を行い、グレーディング処理の際に明るさ調整を行うことをおすすめします。



8 ビューアシストを設定する

- 必要に応じて設定します。
- 〈〉を回して [ビューアシスト] を選び、〈〉を押します。
- 〈〉を回して [入] を選び、〈〉を押します。
- ➔ 動画撮影時にビューアシスト表示が行われます。

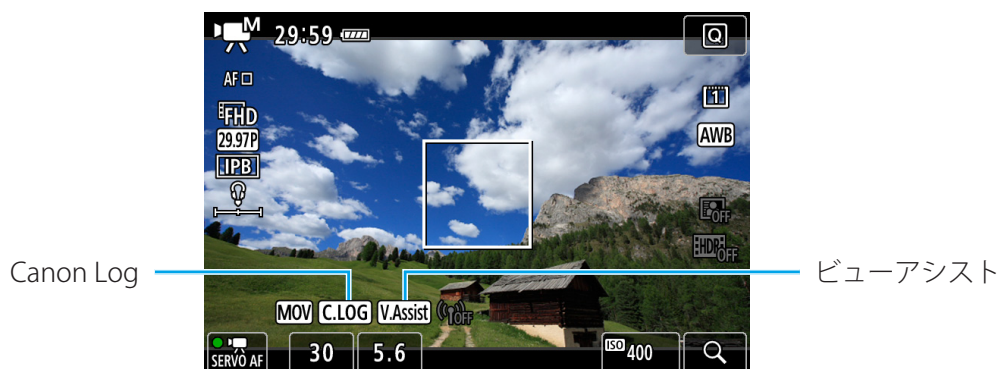
ビューアシストについて

- Canon Log は、広いダイナミックレンジを確保することを目的とした映像特性のため、液晶モニターに表示される映像は、ピクチャースタイル設定時に比べ、低コントラストでやや暗い映像になります。
- [ビューアシスト] を [入] に設定すると、液晶モニターに表示される映像が見やすい特性で表示され、ディテールなどを確認しやすくなります。
- [ビューアシスト] を [入] に設定しても、カードに記録される映像には影響しません (Canon Log の特性でカードに記録されます)。
- [ビューアシスト] が [切] の設定のときは、カメラの液晶モニターの映像や、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility に表示される映像も、Canon Log の特性で表示されます。
- [ビューアシスト] が [入] に設定されていても、HDMI 出力映像は Canon Log の特性で出力されます。
- [ビューアシスト] を [入] に設定したときは、拡大表示を行ったときも、ビューアシスト表示が行われます。

9 動画を撮影する

- EOS 5D Mark IV 使用説明書の 334 ~ 343 ページを参照して、動画を撮影します。

動画撮影時の情報表示



❗ [📷1：レンズ光学補正] の [周辺光量補正] が [する] に設定されているときは、動画の周辺部分にノイズが発生することがあるため、情報表示画面の「C.LOG」のマークが点滅します（ただし、4K 動画撮影時は、[周辺光量補正] の設定はできない（機能しない）ため、「C.LOG」のマークは点滅しません）。

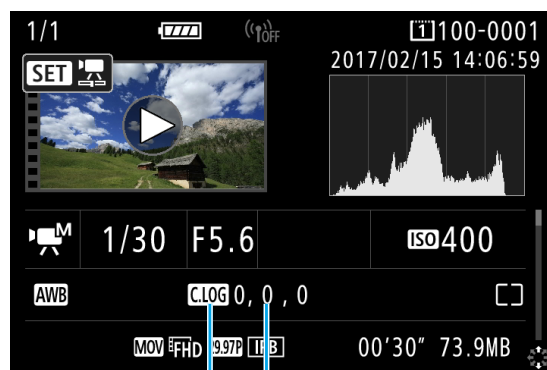
- 📄
- 動画撮影時に Canon Log ガンマ（シャープネス：強さ、彩度、色相）もファイナルイメージシミュレーションされます（ビューアシスト非適用時）。
 - 液晶モニターがビューアシスト表示のときは、動画撮影時の情報表示画面に **V.Assist** が表示されます。ただし、ビューアシスト表示が行われない撮影条件のときは、**V.Assist** が灰色で表示されます。

❗ Canon Log 撮影時全般の注意事項

- Canon Log 設定時は、動画撮影時にピクチャースタイル、オートライティングオプティマイザ、高輝度側・階調優先、タイムラプス動画、HDR 動画は設定できません（機能しません）。
- 「Canon Log 2」「Canon Log 3」には対応していません。
- [🔧5：カメラ設定初期化] を行うと、[📷5：Canon Log 設定] が [切] になります。

再生時の情報表示

- Canon Log で撮影した動画を再生して、「詳細情報」(→ EOS 5D Mark IV 使用説明書 p.398) を表示したときは、以下の内容が表示されます。



Canon Log ——— 設定内容
(シャープネス：強さ, 彩度, 色相)

- EOS 5D Mark IV 使用説明書 399 ページの「ピクチャースタイル情報 1」「ピクチャースタイル情報 2」の画面は、以下のように変わります。

● Canon Log 情報 1



● Canon Log 情報 2



Canon Log で撮影した動画の再生について

- 動画再生時にビューアシスト表示は行われません。
- Canon Log で撮影した動画は、Canon Log を搭載していない EOS カメラや、Canon Log 対応のファームウェアにアップグレードされていない EOS 5D Mark IV では再生できません。

EOS 用ソフトウェア／アプリケーションについて

- EOS Utility がインストールされたパソコンから動画撮影を行うことができますが、EOS Utility から Canon Log の設定はできません。カメラを操作して Canon Log の設定を行ってください。
- このカメラは、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility、EOS MOVIE Utility の Canon Log 対応機能を使うことができますが、EOS Utility 使用説明書、EOS MOVIE Utility 使用説明書（PDF ファイル）では、このカメラの Canon Log 対応機能について説明されていません。EOS Utility 使用説明書、EOS MOVIE Utility 使用説明書の「EOS-1D C」の Canon Log 対応機能の説明をご参照の上、お使いください。
- このカメラで、EOS Utility、EOS MOVIE Utility の Canon Log 対応機能を使用するためには、同ソフトウェアの最新版をキヤノンのホームページからダウンロードの上、パソコンにインストールする必要があります。なお、製品に付属の EOS DIGITAL SolutionDisk（CD-ROM）に収録されている EOS Utility は、このカメラの Canon Log 対応機能には対応していません。
- EOS MOVIE Utility は、対象カメラで撮影した MOV 形式の動画に対応しています（MP4 形式の動画には非対応）。